

このコーナーでは、日常生活の中で遭遇する突然の災害に対して、どのようなソナエが必要か、皆さんにわかりやすくお伝えしていきます。

いざという時のために、一緒に学んで備えましょう。



のソナエ 教室

みんなで
学ぼう

今回は…

地震(火災)

へのソナエです



東日本大震災など大きな地震のあとには、電気が原因の火災が多く発生しています。

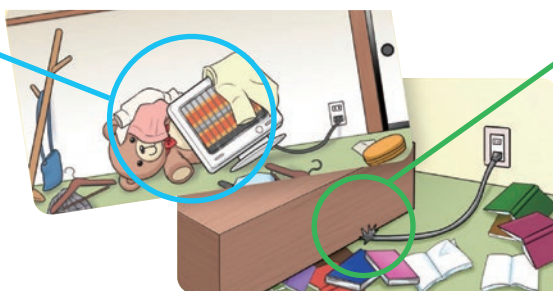
電気火災を防止する有効な手段として、「感震ブレーカー」があります。「感震ブレーカー」は、地震（震度5強相当）の揺れを感知したときに、電気を自動的に止める器具です。

不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に有効です。

電気火災の主な例

電気火災には、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災（通電火災）があり、電気を電源から遮断すること（感震ブレーカーの設置）で出火を防止することができます。

地震の揺れで
電気ストーブ
が転倒したり、
ストーブに落
ちた洗濯物か
ら出火



家具が転倒し、
その下敷きで
断線した電気
コードが
ショートして
出火

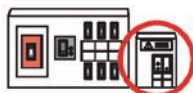
⚠ 感震ブレーカー作動後、電気の使用を再開する際には、機器周囲の可燃物や電気配線を確認 ⚠

感震ブレーカーを設置して、地震（火災）にソナエしましょう！

感震ブレーカーには、分電盤タイプ、コンセントタイプ、簡易タイプがあり、それぞれ遮断範囲や設置方法などが異なります。ご家庭の状況に応じたタイプを選択してください。



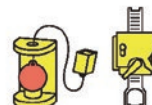
分電盤タイプ（内蔵型）



分電盤タイプ（後付型）



コンセントタイプ



簡易タイプ

出典：「感震ブレーカー普及啓発チラシ（内閣府・消防庁・経済産業省）」より

感震ブレーカーに関する詳細
(補助制度等) はこちら

地震による電気火災対策



(消防局 HP)

地震による電気火災について



(危機管理室 HP)

感震ブレーカー設置促進事業



(都市整備局 HP) デデでん



災害発生時に、自らの命と大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。

人材育成の ヒント Vol.15

無意識の思い込み 認知バイアス

こんにちは、高度専門教育訓練センター人材育成担当です。

このコーナーでは人材育成を推進するにあたり、指導をする上で役立つ「ヒント」を掲載しています。指導者としての能力向上の一助となり、職場でのより良い人材育成につながることを願っております。

－ 認知バイアスとは －

認知バイアスとは、無意識に偏った思い込みをして、誤った認識や合理的でない判断をする心理現象です。常識や固定観念、また周囲の意見や情報など、さまざまな要因によって発生します。

◎ 認知バイアスが起こる仕組み

人は、自分自身の五感を通して外界に触れ、その刺激が脳に到達して情報処理されることで、外界を認識しています。しかし、その情報処理が大雑把なので、分からない部分を勝手に埋め合わせたり、先入観にとらわれて事実をねじ曲げたり、自分に都合よく事実を解釈してしまうことがあります。

つまりこれは、事実を正しく認識できずに不合理な（事実でない）認知をしてしまうといった、全ての人間に見受けられる傾向です。

◎ 代表的な認知バイアスの種類

多くの認知バイアスがあるとされていますが、その中でも代表的な2つをご紹介します。

正常性バイアス： 自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりする認知バイアスのことです。リスクそのものを過小評価し、適切な対策を講じる能力を阻害する可能性があります。

同調性バイアス： 集団の中で他者の意見や行動に合わせて、自分の判断や行動を変えてしまう認知バイアスです。人間関係に調和をもたらす反面、独立した思考を妨げる可能性があります。

< 対策法 >

① 認知バイアスを知る

素早く判断するために働く無意識の思考パターンで、誰にでも起こり得ることを知る。

② 批判的に考える

直感や前提知識を疑い、自分の結論に対して「本当にそうか？」と批判的に考える。

③ 客観的な意見を確認する

自身が認知バイアスに陥っていないか、他者の意見を確認する。

担当者Yのよもやま話

「災害現場は苛酷だから指導は厳しい方が良い」は本当にそうでしょうか？確かに一理あるかもしれませんが、その考えがいつの間にか「厳しくなければ育たない」と決めつけになっていませんか？

人は自分の経験をもとに物事を判断しがちです（経験バイアス）。だからこそ、ときには仲間と振り返り、別の視点を取り入れることで、自分一人では気づかない思い込みの存在に気づくことができます。そうした積み重ねが、より適切な状況判断にも繋がっていきます。そして、その振り返りを実りあるものにするためには、立場に関係なく互いに安心して意見を伝え合える、心理的安全性の高い職場環境を整えることが重要になります。

ちなみに、厳しくしんどい訓練中「しんどくない、しんどくない」と自分に言い聞かせたことがありますが、結局しんどいままでした。人の思い込みとは、そんなに単純なものではないようです。

落語

DE

火の用心



今回のお噺『道具屋』

皆さん、こんにちは。そなえ亭恐妻でございます。今月も、どうぞ、お付き合いをお願いします。さて、今回ご紹介するのは「道具屋」というお噺です。

道楽半分に夜店出しの道具屋をやっている本町の甚兵衛さん。体の具合が悪いので、知り合いの毎日ぶらぶらしている男に道具屋を手伝うよう持ちかけます。男が売り物の入っている風呂敷を広げてみると、火事場で拾ってきた鋸に首の抜けてしまうお雛さん、足が欠けて立てられない電気スタンドにヒビの入った花瓶など、どれもこれもまともなものはありませんが、甚兵衛さんから「元帳に元値が書いてあるので、その分だけこっちに入れて、あとはいくらで売ってもお前の儲けや。」と言われ阪町へと送り出されるのですが…。



古道具や雑貨を扱う「道具屋」さん。とは言え、お噺に登場するのは店舗を構えるのではなく、縁日などに寺社の境内で出店するいわゆる露店営業の「道具屋」さんです。

現代でも古道具や古着だけでなく、アンティークやヴィンテージのアイテム、手作りの品物などのお店が集まる蚤の市や骨董市、アンティークイベントなんか全国各地で開催されていますが、中でも、私がお勧めするのが、上方らしい雰囲気と歴史を感じることができる、四天王寺骨董市です。

☆四天王寺骨董市

四天王寺の公式 HP によると、境内に露店が出るのは毎月 21 日と 22 日、春秋彼岸・お盆で、時間は 8 時頃から 16 時頃、店舗数は 500 店舗程と記載されています。(入場無料)

四天王寺骨董市は、毎月21日・22日に四天王寺の境内で開催される関西最大級の骨董市で、骨董品に工芸品、レトロ雑貨、古着、古道具、おもちゃなど、約300〜500店舗が所狭しと立ち並びます。ノスタルジックな雰囲気の中、掘り出し物を探しに行ってみてはいかがでしょうか。



【アクセス】

- 大阪メトロ谷町線「四天王寺前」駅下車南へ徒歩 5 分
- JR・大阪メトロ「天王寺」駅、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅下車 北へ徒歩 15 分

近世大坂庶民の暮らし講座



数々の大火をふまえた火事への備え

【用水桶】

木造の町屋が密集していた大坂の町は、ひとたび火災が起こると大災害になるおそれがあったことから、町内のあちこちに用水桶が置かれていました。火災時の消火は町人の義務とされ、受け持ちの区域で出火すれば水桶を持参して火元へ集まるように決められていました。江戸の用水桶は木製が主流やったそうですが、大坂は町名を刻み込んだ石造りやったそうです。



さあ、今月の消防落語は、久方ぶりの登場となり、そなえ亭南海の「白鳥さんこの火事」でございます。いつもどおり、大阪市消防局公式YouTubeに高座の音源をアップしていますので、是非、お聞きください。

大阪市消防局公式 YouTube



6月号



5月号

5月号の二次元コードに不備があったため再掲載しています。

実科査閲



朝夕の風に春の気配を感じるようになった3月27日、第119回初任教育の実科査閲及び修業式が行われました。

6か月間の厳しい訓練を乗り越えた初任教育生は、これまで支えてくださった方々に対し、成長した姿を披露しました。

ポンプ・ロープ・救急訓練を通じて、要救助者に寄り添いながら「絶対に諦めない」という強い気持ちを学びました。

119期生の基本原則である「礼儀・礼節・素直な心」を消防学校で学び、今後は各所属においてもその精神を忘れることなく、更なる知識・技術の向上に努め、活躍してくれることを期待します。

修業式



We are Rookies

救急救命ラリー

最優秀小隊 第4小隊



第119回初任教育もいよいよ大詰めを迎え、ポンプ・ロープ・救急の総合訓練として「救急救命ラリー」及び「実戦ポンプ操法」を実施しました。

「救急救命ラリー」では、救急基本手技から現場対応能力に加え、応急手当指導技術を小隊ごとに競いました。

「実戦ポンプ操法」では、消防学校で学んだホース延長や三連はしご操作等の技術を取り入れ、安全性・確実性・迅速性を競いました。

学生は、これまで培った知識と技術の更なる向上を目指して自己研鑽に励み、当日は活気ある訓練の中で、その成果を遺憾なく発揮しました。

結果は、「救急救命ラリー」は第4小隊、「実戦ポンプ操法」は、第3小隊が最優秀小隊の栄誉に輝きました。

実戦ポンプ操法

最優秀小隊 第3小隊





高槻市消防本部

林野火災対応訓練を実施

高槻市消防本部では、令和8年2月24日及び27日、市内山間部において林野火災対応訓練を実施しました。萩谷総合公園サッカー場北側の山林で火災が発生したという想定のもと、延焼拡大する火点に対して、ホースを延長し、地上からの消火活動を展開しました。訓練後半には、大阪市消防局航空隊の消防ヘリ「なにわ」と連携し、機体下部に吊り下げた空中消火用バケツへの給水を本市消防隊員が行い、山林内の火点に対して反復散水を実施する空中消火訓練を行いました。

本市では、令和8年1月1日から、林野火災の予防を目的とした「林野火災注意報・警報」の運用を開始しました。林野火災は、降水量が少なく空気が乾燥し、強風が吹く冬から春にかけて多発し、草木の焼却や入山時の火気の不適切な取扱いなど、人為的要因によるものが大半を占めています。これらを予防するため「林野火災注意報・警報」を的確に発令するとともに、市民等へ火の使用について指導してまいります。



守口市門真市消防組合消防本部

守門救急シミュレーション訓練を実施しました！

令和8年3月4日～6日の3日間において「守門救急シミュレーション訓練」を実施しました。

守門救急シミュレーション訓練とは、あらゆる救急現場を想定して、現場に即した救急活動を行い、指導的立場となる救急救命士を中心に、その活動内容について振り返り、相互評価をします。

これは高度化する救急活動への対応に向けた救急隊員のスキルアップや連携能力の強化等を図るものであり、平成30年度から本訓練に取り組む、この度7回目の実施となりました。

今回は、「集団災害及び複数隊連携活動」をテーマに、各隊の救急活動内容について隊員間で積極的に意見交換を行うことで、新たな発見や気づきを得ることができ、とても有意義な訓練となりました。

これからも、当消防組合の救急対応力の強化、ひいては市民サービスの更なる向上を目指し、救急事案発生時に迅速かつ適切な搬送活動ができる実践的な訓練の実施に努めていきます。



摂津市消防本部

事業所と合同で化学災害対応訓練を実施

摂津市消防本部では、令和8年3月6日、市内の化学薬品等を取り扱う事業所において、化学薬品が漏洩し作業者が負傷するという想定のもと、事業所関係者と合同で化学災害対応訓練を実施しました。

今回の訓練では、事故発生後の初動として情報収集、検知、ゾーニング及び拡散防止措置を実施し、要救助者の救助・除染活動を中心に、消防と事業所が円滑に連携協力しながら活動を行いました。

本訓練を通じ、化学災害における基本的な活動手順の確認や除染シャワー等の資器材の操作習熟を図ることができ、また、事業所との連携強化という観点からも大変有意義な訓練となりました。

今後も定期的に市内の事業所と実災害に近い実践的な合同訓練を積み重ね、今後起こりうる多種多様な災害に対し、迅速かつ的確に対応ができるよう、消防力の向上に努め、市民の方々が安全、安心に暮らせるまちづくりに貢献していきます。



忠岡町消防本部

高規格救急自動車のお披露目をしました！

忠岡町消防本部では令和7年度に高規格救急自動車（以下、救急車という。）を更新し、令和8年4月1日から運用を開始しています。

それに先立ち、忠岡町長及び忠岡町議会議長に対して、令和8年3月31日に新しい救急車のお披露目をしました。

新しい救急車は救急係が中心となり、デザイン、カラーリング、内装、救急資器材など細部までこだわり完成させたものです。新しい救急車の詳細な写真をご覧になりたい方は、忠岡町消防本部の公式 Instagram アカウントに救急車の写真を投稿していますので、そちらをご覧ください。

この新しい救急車とともに、忠岡町民の安全・安心を守っていきます。



@TADAOKA_FD_OFFICIAL

忠岡町消防本部
公式 Instagram